臺灣日日新報
夕刊
五月十九日

次の方途確信缺き 苦惱する米大統領
持て餘す"乘出した船"

【ワシントン十八日發同盟】昨今のアメリカ新聞はヘス問題に隱れた英獨和平の問題を一切無視する態度を執り獨佛新協定問題の波紋と十六日の記者團との會見でルーズベルト大統領が言及した獨佛自由の問題、獨佛協定などを大きく取扱ひ獨佛協定はドイツをして西部アフリカ佛領を基地に使用せしめるものだとしてこれが西半球に對する脅威を說き…… [illegible]

（寫眞はルーズベルト米大統領）

戰後和平の基礎綱領
米長官、五計畫案を發表

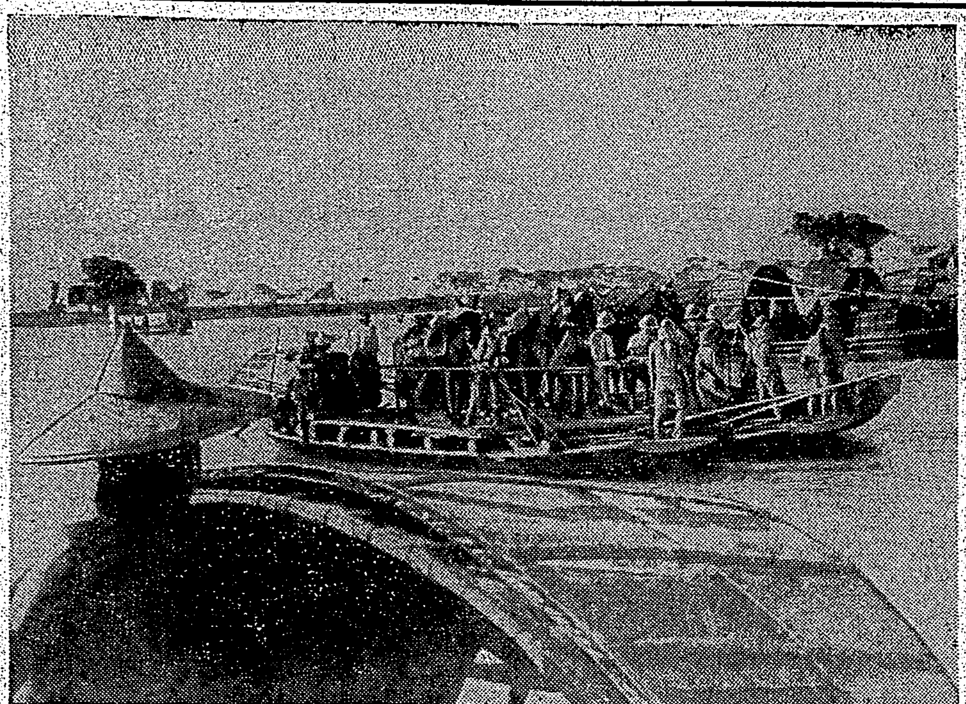
【ワシントン十八日發同盟】ハル國務長官は十八日夜貿易週間のラジオ放送に於いて「米國の眼目は英國の勝利を確定するにある」と主張しつつ同時に戰後平和に對する基礎綱領として五綱目に亙る計畫案を發表した…… [illegible]

赫々たり中原作戰
陸相、參謀總長から祝電

【東京發同盟】東條陸相及び杉山參謀總長は中原作戰の赫々たる戰果に鑑み十九日午前北支派遣軍に宛て左の如き祝電を發した

東條陸相 [illegible]

杉山參謀總長 [illegible]



南支作戰・愛馬も民船に乘つて溯江　[illegible]

新嘉坡を基地に 華僑の和平熱昂る
重慶側狼狽、抑壓に大童

【十八日上海發同盟】[illegible]

英軍死鬪準備
死の街・ジブラルタル

【アルヘシラス十八日發同盟】英主力艦レナウン號（三二、〇〇〇噸）は戰鬪修理のためジブラルタル軍港の船渠に入つたが、十八日には更に驅逐艦五隻がドライ船渠に入つた…… [illegible]

ドゴール派カ將軍 シリア國民に演說

【カイロ十七日發同盟】[illegible]

本多大使海相訪問

【東京發同盟】本多駐支大使は十九日午前十一時三十分及川海相を官邸に訪問…… [illegible]

司法保護實績向上へ
少年審判所長等會同

【東京發同盟】[illegible]

法相訓示要旨 [illegible]

廣域を伊領に編入
伊・クロアチア條約調印

【ローマ十八日發同盟】[illegible]

クロアチア國王 ローマで任命式

【ローマ十八日發同盟】[illegible]

米新駐支大使 動向注目さる

【十八日上海發同盟】[illegible]

あすから警察會議

[illegible]

南總督拓相と會見

【東京發同盟】[illegible]

南京政權の育成
聖戰目的貫く　平貞藏

日ソ中立條約が支那事變にどんな影響を及ぼすかは今後に於て見なければわからぬが…… [illegible]

無絃琴

[illegible]

ハワイにも 國防罷業か

【東京本社特電】ホノルル [illegible]

人事

[illegible]

三國志
(490) (出廬の卷)
吉川英治作　矢野橋村畫

のら息子（四）

[illegible]

アスタフィール
四基＋一基
丸ゆる化膿性疾患に
三〇錠入 三円五十錢
六〇錠入 六円
資生堂

テラポール軟膏
唯一の外用ズルフォンアミド劑
面皰・癤・腫
痤瘡・水泡疹
創傷・火傷
膿瘍・濕疹
化膿性の皮膚病
◇
テラポール軟膏を塗布または貼布すれば皮膚より速かに吸收されて化膿菌の發育を防止するが故に、病竈は自潰消滅して頗る簡易に治癒す。
チューブ入……五〇……八〇
第一製藥株式會社

テラポール錠
化膿症
內服化學療法
各種の化膿菌・流行性感冒菌・淋菌等──生體內に潛入して病源となる惡性細菌を確實に撲滅し、化膿性皮膚疾患・扁桃腺炎・感冒・中耳炎・蓄膿症・齒槽膿漏・齒齦炎・丹毒・敗血症・膀胱炎・急性慢性の淋疾等を最も短期間に治癒せしむる新發見の化學療法……本邦ズルフォンアミド劑の始祖たる榮譽と、卓越せる技術による最高の純度とを以て全國醫學界に信認せらるゝ第一製藥のテラポール！
包裝 六錠・二〇錠・一〇〇錠
第一製藥株式會社
本社 東京市日本橋區江戶橋
支店 大阪市東區道修町 奉天市琴平町三 京城府黃金町 天津日本租界伏見街 上海崑山路

修學院離宮に行啓

三府縣下の物産御巡覽

皇后陛下

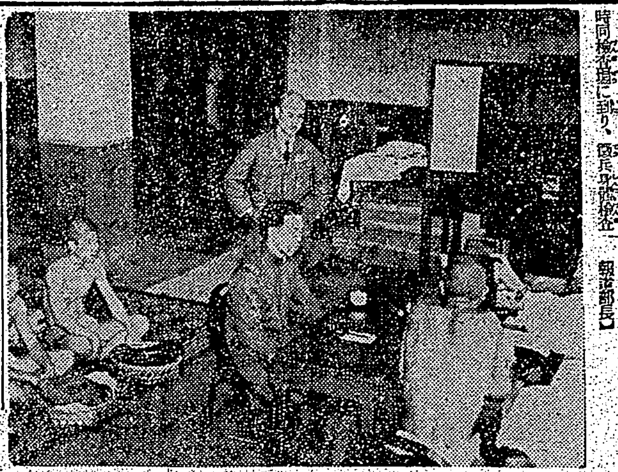
【京都發同盟】皇后陛下には十九日保科女官長御陪乘、廣幡大夫以下を從へさせられ午前十時三十分皇宮御出門、比叡山西麓修學院離宮に行啓あらせられた……

我こそは甲種合格

檢査場視察の井上報道部長滿悅

興亞の若人元氣一ぱい

臺北市本年度徴兵檢査は去る十四日から市公會堂に於て實施されてゐるが、第六日目の十九日、臺灣軍報道部長井上中佐は石川明少佐を帶同して午後一時檢査場に到り……"我こそは甲種合格"と勇み立つ興亞の若人の受檢狀況を……視察した【寫眞は視察中の井上報道部長】



稻作旱害防止 近く實地試驗

【東京發同盟】農林省では昨年來十四萬圓の稻作旱害防止試驗施設……

農村協同體建設へ

一村一ヶ所に共同炊事所

【東京發同盟】農村中堅分子で構成されて居る農村協同體建設同盟では本年度活動の第一着手として食糧增産及び勞働力の合理化、保健並びに節米の一石四鳥を狙つて農村共同炊事所設施を全國的に展開する事となり……

日本を美む

泰國ガラワン殿下寄臺

【基隆電話】郵船でり丸（一八一トン）は日本・泰國交換留學生の第一船として十八日基隆に寄港十九日正午神戸に向け出帆したが……

和知參謀長 歸臺の途へ

【神戸本社特電】上京中の和知臺灣軍參謀長は十八日神戸出帆の……で歸臺の途に就いた

南方發展史

愈よ近く撮影開始

【東京本社特電】臺灣總督府後援の國策映畫"南方發展史"はその後日活本社において製作準備を進めてゐるが……

本島人俳優を選拔

歡喜力行運動 素人演藝を指導 大原幽學傳を紙芝居に

日獨交驩圖碁大會

婦人親善使節訪獨

必勝確信の獨國民

遣獨庭球選手決る

桑の實で優秀染料

廣東周邊の遊擊隊 迷夢より醒め歸順

街の殊勳者 其の一 其の二

憧れの飛行機を 觸感て見學 盲學校生徒隊の感激

新竹州防諜演習の 陰に咲いた美談 永久巡査に賞讚の聲

防諜窓飾競技會の入選者賞品授與式

宮木知事一行 諸演習を視察

假裝スパイの座談會

大相撲八日目勝負

大相撲夏場所 十二日目取組

軍用動物慰靈法要

浦波號チモールへ

新竹州で防訓打合

國民學校講演

遊覽船顚覆

蘇澳築港起工式 近日中に擧行

臺北州青年修練所 あす第一回入所式

許市長、關係功勞者に慰勞の金一封

坂口高雄州知事廣東發 廿五日正式赴任

チフス豫防注射

概況

ミクローゼで張切れ！ 生殖腺製劑 ミクローゼ ホシ

臺灣案内 七分搗の御飯に 慰問袋に是非… ごま鹽
書籍 福建省全圖 普通文官試驗問題集 改姓名參考書 姓名學之神祕
醫院 性病科 永吉醫院 産婦人科 寫眞 中古カメラ高價買入 時計眼鏡 メガネは金光堂 金融 商品券 ラヂオ器械 洋服 十ヶ月月賦 夏の婦人服地 染物洗張 丸本ハ京染店 合冬服地 藥種商 肺炎 梅肉X 萬適斯 藥ドラミン 補三奇 自轉車 自轉車 雜件 特許 商標 岸喜鑑 新古日本刀賣買 特許冷藏庫 御國の爲に國債を 豐年グルー コールセット 村井 ハンドバック 村井 蚊とり線香 美容一般 內地式改名

町の赤帽 新食堂 貝塚伊吹大量生産 西式健康法道場 各種ヤスリ タイプライター 豐富荷揃
弘法寺住職 七等 父 中島眞隆 儀病氣入院中の處療養不相叶八日午後十一時遷化致候に付辱知諸彦に謹告候 中島義弘 …
自宅執務 代書事務
健康增進に トンオネ
大印滋養糖 お乳の出ないお母さまに

山の凱歌 黑き寶 李香蘭 コロムビアレコード

クルミオイル つけて日増しに輝く美髮 本舖クルミ商會
ビクター 六月新譜 提琴奏鳴曲 日本童謠名作集 桃太郎 國民學校の音感 幼稚園の音感 臺灣の舞曲 廬山の明月 想ひ出のタイ 南の憧れ 興亞相撲ぶし 天中軒雲月 抒情小曲集 交響曲第五番「運命」 交響曲「新世界より」

南支・南方版

福州へ米も來た！ さあ日本語講習だ

日語學校開設＝市民感謝の意氣込

【福州にて岩村特派員發】皇軍入城を心から歡迎してゐた福州市内は已に治安確立し一番困り拔いてゐた飯米も軍の絕大なる斡旋により續々發荷、低廉販賣に供給されて益々明朗な復興振りを示してゐるが、これと共に市民に日本語を習得したき希望のもの多く、豫て福州發展の爲め努力して來た林[illegible]時氏は福州の發展を期し日本と協力して東亞新秩序を建設する爲めには先づ日本語を習得すべきであるとし此の程自發的に日語講習所開設方を申出でたので軍報道部では大いに感激直ちに福州師範學校を之に充てて近く開講の運びとなつた、之と共に皇軍の爲め書籍が殆ど散逸してゐる右圖書館も各方面より書籍を蒐集して右日語學校と併行して圖書館も開き以て福州文化の指導に寄與することとなつた

大福建建設へ

皇軍、閩人治閩の大綱を嚴然標榜 自治委員會の活躍期待

【福州にて岩村特派員發】皇軍入城により福州市の更生再建と共に大福建省建設の雄叫びは逸早く澎湃として起り之が指導については軍當局としては當初の方針通り閩人治閩の大旆下に飽く迄彼等の自主的活動に委ねてゐるが已に各地より馳せ參じた具眼の士により福州治安維持會とは別個に福建省自治委員會の結成を見つつあり、之によつて大福建省の更生發展も日ならずして軌道に乗り明朗福建の再建が實現するものと見られてゐる、併も軍當局としては右の如く閩人治閩を標榜せる以上、日本人の進出についても頗る愼重なる方針をとつてをり大體現在のところ邦人の福州地區の渡來並營業取扱に關しては軍の駐屯に必要なる最少限度のものに制限すること、即ち本邦人の福州地區渡來は

は軍の指定するものに限る、但し軍人、軍屬並官設官公署の證明ある公務出張者は此の限りに非ず

と規定し苟くも閩人治閩の最高方針に悖るが如きことは斷乎之を排除する方針である、從つて從來の占領地域下におるが如く一攫千金を夢想して押すな押すなの渡來進出は到底許容されざることを銃後はよく認識すべきである

福州の兵隊さんへ 新聞雜誌を送らう

何よりの慰問は讀み物

【福州にて岩村特派員發】今次福州攻略戰の行動開始されるや〇〇にゐた我が皇軍の勇士達は鎧袖一觸、直ちに福州を攻略、息つく間もなく敵送の殘敵を掃蕩、絕大なる成果を舉げ今や福州周邊十里には敵一兵も見ず、市民の復帰生業に勤むもの殆ど九割を占め、僅に遠く逃走した一部政府要人のみを殘す狀態になり、益々明朗福建建設に市民は喜々としてゐるが、此の間我が皇軍の勇士達は丸一ヶ月有手、漸く落ち付いて見れば何より欲しいものは頭の糧である、讀み物である、古新聞古雜誌何んでもよいが、敵前上陸、福州攻略といふ息つく間もない激戰また激戰に僅に煙草、燐寸を殘しては新聞一枚でも持てたかつた、何か讀みたい、勇士達は市内の書店を漁つては手頃の漢書を見て僅に慰めてゐる狀態であつたが突如本月三、四日附の本紙が三千部福州に輸送されたので記者は早速報道部を通じて各隊に配付した、讀み物、假名混りのものが讀みたいで旺一杯であつた時だけに此の僅三千部の臺日紙が非常な歡迎を受け、勇士達に引張凧大いに喜ばれてゐる

嘆きの預金者

四銀行遁走 姿を消した一億元

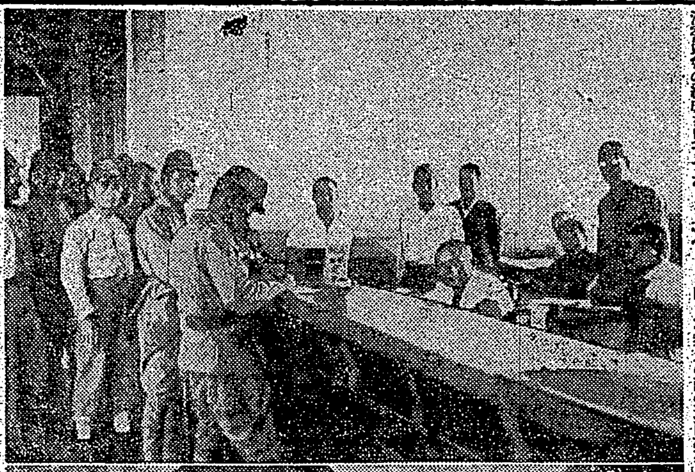
【福州にて岩村特派員發】福州の再建復興に最も必要なる金融機關は之が建て直しに非常な困難を來してゐる、即ち從來市内にあつた福建農民銀行を始め中央、中國、交通、農民各銀行支店は去る四月十九日皇軍が福建海岸に上陸せると知るや、偶々土曜日であつたので閉店一時間にして直ちに閉鎖、預金通帳を始め取扱ひ在庫紙幣全部を纏めて遁走したもので預金高及び現金（紙幣）合計は概算一億元に上ると見られ、之が爲め現在市内は極度の通貨梗塞を來してをり預金者も泣くに泣かれぬ狀態である

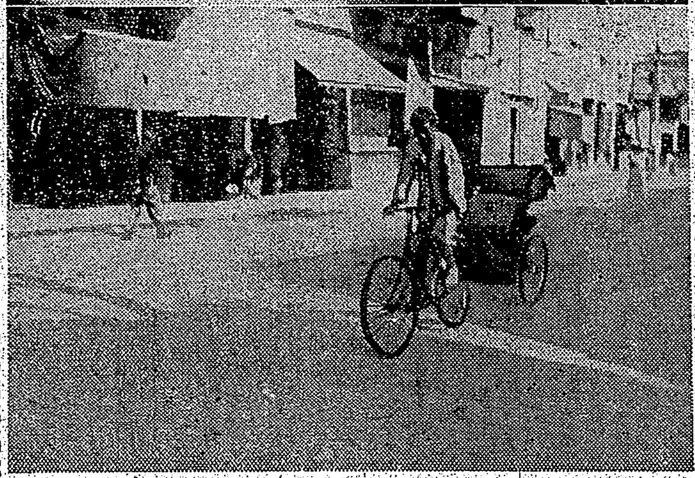
安居樂業目差し 不言實行だ

治安維持會會長語る

【福州にて岩村特派員發】此の程結成を見た治安維持會は元公安局跡に事務所を設け各局長以下陣容の整備擴充に懸命の努力を拂ひつつあるが過去四年間に至る將政權の無益盲目な抗戰に依り食ふに米なく、なすに業なき四十萬市民を如何にして救濟するか、財政、經濟、教育、衞生、治安、文化各方面に亙り困憊死滅の狀態にある福州を如何にして再建すべきか、皇軍が福州に入城するや直ちに馳せ參じて死都福州の再建復興に血眼の活動をなし、治安維持會會長に選任された〇〇〇氏は本年四十八歲の働き盛り、維持會生みの親として多忙な中にも長身痩白を紺サージの密服に固めながら鮮かな日本語で福州市の疲弊困憊と將政權の惡政振りを痛罵、卓を叩き悲憤を宣して福州再建の決意に此の重大難局打開に猛突猛進する決意を左の如く語る

福州の疲弊と市民の困窮振りは全く言語に絕するものがある、日本軍の入城に依り直に治安維持會を結成、各局長、委員を選任して此の難局打開に乘り出すことになつたが、先づ何を置いても治安を確保せねばならぬ、此の爲めには現在の困窮狀態からして飯米の供給を圓滑にする事が絕對に必要である、私も此の二ヶ月間、米は一粒も口にしてゐない、之と共に人的資源を求め、廣く同憂具眼の士も協力又市勢の發展は經濟への協力を起に俟たねばならぬので、早速商會を招集し各業界の自力更生と政府への協力を求めた、之を要するに自分は從來の無な官僚や空騷ぎを一掃してどしく實行する、そして眞に福建には新しい政治、明朗な政策を遂行、以て眞の安居樂業と東亞新秩序建設に邁進する覺悟である、臺灣には大正七年行つた切りであるが福州と臺灣とは僅かに一衣帶水、古來地理的に經濟的に最も密接な關係にあり、將來大いに協力援助を仰がねばならぬ、近く自分も是非臺灣視察に赴きたいと思つてゐる





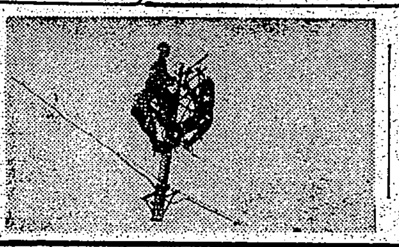
明朗福州畫報

（寫眞上から福州郵便局に貯金をする兵隊さん達、開設された福州日語學校、何ヶ月目にか米袋を手に入れて意氣揚々わが家へ急ぐ福州市民）

汗だくの奮闘 電話も復舊

皇軍勇士の獻身

【福州にて岩村特派員發】福州市内の通信機關たる電話網は皇軍の入城直前受話器の盜難に遇ふやら電線の切斷されるもの多く復舊に困難を思はせたが此度にも我が皇軍の勇士達が獻身的努力を拂ひ保線の整備、引込に盡力した爲め入城後旬日足らずして復舊しどしどし通話をなしてゐる（寫眞は電線を修理する皇軍勇士達）



卅八ケ所の救火會整備

公安局の活動

【福州にて岩村特派員發】新生福州の建設は着々と進捗し來て目下準備中の福州治安維持會も結成さ[illegible]

献金 台湾軍司令部扱

四月中申出金品獻納及び恤兵獻金は總額金一万五千四百九十四圓五十九錢にして總件數は百九十六件、十圓以上の獻金者氏名次の通り

[illegible]

手形保護器

ートーホー

手形保護器

小切手・手形の裏出に安全な本器を御使用下さい

株式會社 內田洋行

大阪・東京・臺北・新京・滿洲・北支・中支

婦人科の手を借りて

惱みの因がとれて曇る心が晴れ上る

治療は權威ある藥で

晩春から初夏にかけての婦人病の治療は是非にとりと遂げたいものです。その上進歩した効果のある點では、現在帝大病院を初め全國有名病院婦人科使用のワセトン球が第一です。その優れた組立て、その鮮やかな藥効、その爽やかな使用心地、どの點にも針で突く隙間もない何から何まで整つた權威ある高級婦人藥です。

痛みのとれ方、自帶下の止り方が鋭いのは云ふ迄もなく、血管を擴げ神經を元氣付ける鋭い効果は正に天下無敵です。

月經不順、不快な自帶下、腰の痛み等の因を根絶する子宮内膜及び附屬器官に出來る炎症、これが悪い婦人病の病根であつて、その爲に貧血、冷え性、逆上、頭痛、肩凝り、頭痛眩暈、逆上耳鳴り等の症状が附き纏ふのですから、病根炎症を根こそぎ取る治療の出來るワセトン球で健全な生理、正しい體調が得られるのは當然です。

身も心も浮き立つ程朗かです

宮城縣刈田郡宮村 工藤正子

前文御免下さいませ。ワセトン球を是非御送り下さいまして有難うございました。早速使用致しました所、大變具合よく毎日樂しく勤めに通つて居ります。何故早くにワセトン球を見付けなかつたのだらうと思ふと、しみじみと悔やまれてなりません。永い間婦人病に惱まされ、笑ふ事の出來ない私でしたが今は明るい笑ひ出た顏でおります。此の喜びを察して下さいませ。

月々の生理が正しく 下り物の不快がなく 正しい健康狀態です

下腹と腰部が痛まず 冷えを感じないのが

若しそうでなければ

有名病院婦人科使用

ワセトン球で 解決して下さいませ

この治療力があればこそ満足が得られるのです

ワセトン球の治療力がどうしてそんなに優れてゐるかと云ひますと、消炎鎮痛作用で痛みと自帶下、止め、消毒殺菌作用で病菌を無くし、それに鎮靜作用で神經を鎮め、更にVA・D等新しい藥を含むもので[illegible]

それに御使用は、一日に一球、軽い方なら二日に一球でお治療が遂げられます。

自帶の惱みは軽い方で一週間も續けて使用すれば、病根から治しますから此の際完全に除去して下さいませ。

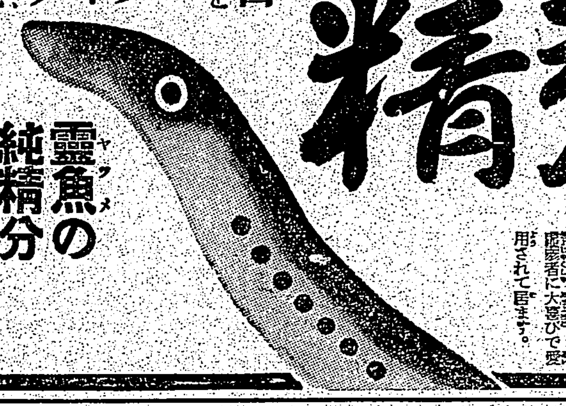
定價 十六球七十錢 三十球一圓二十錢 三十球二圓四十錢（〆）一圓二十錢

不老強精

目をハツキリ、血色よく、病體を丈夫にする！

毎日三球 效果絕大

靈魚の純精分を藥劑化した



やつめホルゲン球

試藥無代進呈

北海道水產工業株式會社

代理店 臺北市本町四丁目 萬傳藥房

勤勞に鍛へよ……強い若肌！

今こそお肌のお手入れ時！

爽やかな青葉時……お肌が新鮮に若返る季節です。

職域奉公に突進する皆樣こそ、床しい日本女性の身嗜みとして、朝夕はウテナバニシングで健康美に輝く若肌を！

お肌を生かして

化學的な美肌作用と保護作用のある優れた整肌料です ニキビ脂ら顏を防いで若さ溢れる健康肌を養ひます。

淡化粧下に理想的

しつとりと肌を整へ化粧崩れを防ぐ純質の化粧下です 健康化粧には是非……

ウテナバニシングクリーム

入浴後に・洗顏後に ニキビ・脂ら顏防止に・化粧下に

濕布はエキホス

エキホスは國產嚆矢の純正巴布劑にして本品の貼布は最も合理的なる療法として全國醫家に推奬せらるるも近時各種の巴布劑市販に出づ從てこれが選擇には相當の注意を要し巴布劑の生命たる品質及藥効に留意せらるる事肝要なり。

包裝 一〇〇瓦 二〇〇瓦 五〇〇瓦 一瓩

適應症

感冒　肺炎　中耳炎　扁桃腺炎　神經痛　ロイマチス　打撲痛　捻挫　齒痛　火傷等

エキホスは諸種の炎症性疾患並に疼痛性疾患に貼布すれば特有の鎮痛と保溫の兩作用により速かに炎症を去り疼痛を輕減し熱を下降せしめ頗る爽快の感を與ふ。

用法簡便にして能く長時間効力を持續す。

エキホス

販賣元 武田長兵衞商店　塩野義商店

製造發賣元 二巴合名會社

A-215(15)S

曉の町（172）

武田麟太郎作
林　唯一畫

旅（十三）

粟林が、おきんの胎の中にゐる子供ともく引受けたいと云ふ。そこまで決心するには、どれだけ悩んだ末であらうと、彼女はいつそ泣きたくなつた。

「――でも、……」

彼女は眼の迫つて來るのを覺えつつ、何かと抗辯するやうに、唯それだけを云つた。

「――でも？」

粟林はそのまま鸚返しして、

「――どうしてもおいやですか」

いやと云ふのではない、と云つて、その限りないばかりの平常にあまへて了ふのは、恐怖しい氣がする。おきんは益くどうしていいか判らなくなつて了つた。

「――おきんさん、早く來い」

フオームから誰かが呼んでゐる。列車が驛に近づいて來たらしく、慌ただしい空氣を破つて、重い地響きが傳はつて來る。

「――私、……」

もう云ふことはなかつた。すべてあきらめて働ふより仕方がない。自分もあきらめて生きてゐる

の氣持の中へぐいぐいと食ひ込んで來た。

「――行かないでくれませんか」

彼みたいな年配の男が口にするには滑稽な言葉かも知れなかつた。それが極めて自然に聞えるのは、思ひあまつた末の、拔き差しならぬ表現であつたからであらう。

「――おきんさん、何してんだよ、どうするつもりかよ」

改札口で、太夫元が首を屈折にして呶鳴つてゐる。發車ベルが鳴つてゐるのだ。

「――あの、私は、……」

返事をする手を、粟林は握つて放さない。人眼もあつたが、彼はまるで意としてゐないやうに見えた。

そして、たうとう汽車は出て行つたのだ。

一座の連中は、ステツプの上に折り重なるやうにして、口々に何か叫びながら、彼女を呼んでゐたが、それも眼の前を過ぎて、消え失せて了つた。

おきんは何かがつかりするもの女である。

彼の眼を見るに耐へず、視線を外して、輕くお辭儀をするると、とつさに身を翻へして立ち去らうとした。

すでに汽車は勢ひよく構内へ辷り込んでゐた。

「――おきんさん」

聲ひきつつて、粟林は彼女の手を把つた。

「――はい」

自分でも思ひの外に素直に、おきんはその手を委して、はじめて彼の眼を覗くに見た。溢れるばかり誠意を湛へた面持は、彼女

と同時に、思ひがけない運命の場面に緊張するものと感じて、ぼんやり立ち盡してゐた。氣持が高く揺れ動いてゐる。しかも、自分が何を考へてゐるのか、さつぱり見當がつかない。唯、淚を見てゐなければ、粟林の胸に顔を埋めてわつと泣きたかつた。

「――ありがたう……みなさんにはすまないことをしました。……」

粟林もうなだれて、低くしめつた聲になつてゐた。

「――本當にありがたう、……自分の我儘は判つてゐるが、どうにもならなかつたのです」

おきんの手には立ち去つた汽車のあとに漂つてゐるやうな氣がする。一座の者たちの表情も、断片的に鮮かに浮かんでは消えた。

御家庭心得帖

油紙に文字を書くとき

普通の墨汁で小包の油紙や柬紙に文字を書かうとしますと、油が弾きはじいてなかなかうまく書けません。これをふせぐには、酢を入れ

風呂の浮き蓋活用

風呂を早く沸かすには、普通の蓋のほかに水面になるべく近い浮き蓋をうかせて沸かすと、熱が逃げずその上、蓋の脇力で熱の攪拌がよくなり、早く經濟的に沸きます。沸かすときばかりでなく、使用後もこれを浮かしておけば早く冷めません

敵を完膚なきまで
叩き潰すのが攻撃目的

午後中隊長の訓示があると、中隊長指揮班前の廣場に集合した追撃隊は、大きな歡喜と決意を眉宇に漂はしながら大要左の如く語つた、竹田部隊長以下各勇士及戰傷して後送された戰友並に今殘存してゐる諸君の武勲によつて吾が中隊は大いに功績を擧げた、このことについて中隊長は昨夜部隊本部に於て數多の將校部が集合してゐる中で部隊長殿より過分のお賞めの言葉をいただいて却つて恐縮してゐる次第である

云ふ迄もなくこれは諸君が身を粉にし身を投げうつて奮闘してくれたお蔭である、中隊長はここに更めて厚くお禮を申しのべると共に猶一言お願ひしておきたいと思ふ

といふのは申す迄もないことであるが、今度の總攻撃にはより一層のベストを盡して貰ひたいといふことである

今度

の總攻撃には○○部隊が轡を並べて進擊するのであるが吾が渡邊部隊が攻擊命令を受けてゐるのは敵が難攻不落と豪語してゐる大險要塞の拔擢部といふ山である、私が望むところは早く云へばこの山頂にいの一番に軍旗を飜へしていただきたいのである。これについては部隊長殿が非常に力癖を入れ、その實現を切望して

ゐられる、思ふに吾が部隊は歩に陸の魚翁の名聲を一世に轟した吾々は先輩が築いたこの輝しい歷史の名聲を恥しめ傷つけるやうなことがあつてはならない。

無論私は諸兄が常に忠勇果敢に行動してゐることに對しては萬腔の敬意を表し、これについて念を押すことは蛇足に失する感がある所謂武人の勝つて兜の緒を締める筋に習つて敢て一言申し述べた次第である

長い間の戰鬪で疲れてゐる諸君に再び重大な任務を付與することはまことに氣の毒であるが今申し述べたやうな譯であるから

緊褌

一番奮起し、あらゆる困難に打ち克つて部隊長殿の意に副ふやう努力して貰ひたいと思ふ。

戰局について一言すると前面の敵は二十有箇師ゐるがこれには中央軍も居れば廣西軍も居り、廣東軍も居る、この總攻擊について部隊長殿が心配してゐられることは、敵軍にはそれぞれ地盤があるので彼等はその地盤の勢力を固守する爲に我軍の被害を蒙らないうちに退却しはしないかと言ふことである、離はずして敵に退却されては殲滅することが出來ないから目的を達することが出來ない、今度の總攻擊は敵軍を

完膚

無きまでに叩き潰すのが目的であるから、從つて要夜襲行の追擊が敢行されるものと覺悟して貰はなければならない。

と中隊長は語を強くして話を結んだ、愈々私達が長い間待望してゐた總攻擊が明日になつたのである、二十日間の暫壕生活の間私達はどんなにこの總攻擊の日を待ちあぐんでゐたものか、腕を撫しながら漸く耐えてゐた敵愾心が今や堰を溢れ出るばかりにどの兵隊の胸内にも充満したのである。私達は深く決意しお互に感激に顫へながら堅く手を握り合つた。拔擢部まで三日の豫定だそうである。そしてその拔擢部は已に廣西軍が阿片戰爭の際英軍を擊退したといふ歷史を持つてゐるところだといふことである。

山口樺壇　塚越正光選

課題『爽快』その三

炭酸をのがれ空氣の美味い事　臺北市　草江充

昇起の胃の腑にしみる深呼吸（嵐隣）　臺北市　長尾駿夫

へしみる空腹にこれぞ神秘質（なら）　花蓮港　渡邊蛙生

（評）空氣の味が解るといふ處はこの句の見どころなるが、この日の朝の氣持であらうかどうか

（評）爽快といふものにも似た句物が多い事は結構な事であるがそれだけではないでこの句が生きる

早朝の桐蛭に寝せる宿の下駄（鏡吟）　宇治田快晃

（評）所謂爽快であるとは町中ではこの味を知らずに一生を終る方が多いのである、世の朝の馬追叩り手も馬もはりきつて（鏡吟）

海外トピック

親爺に負ない心臓　ルーズベルト大統領の倅大いに吐く

【ロサンゼルス《盟同盟》】ルーズベルト大統領の長男ゼームス・ルーズベルトは結婚式を擧げたばかりの新郎である、彼は本年三十三歳の再婚であるが花嫁の方は若紀二十五歳の初婚の娘、ミネソタ州ロチエスター病院の看護婦さんロメル・シュナイダー嬢である

二人はホワイト・ハウスで派手な披露宴をやるのを避けて米國の風習に從ひ花嫁のあるサンデイエゴで擧式ここに新家庭を持つことになつたが、海軍豫備大佐であるルーズベルトは海軍當局の使命を受けて急遽出發することとなつたので新婚旅行も拔きにして彼の前妻との間に出來た二人の子供を新らしい嫁さんに託して出かけた

ルーズベルトがシュナイダー嬢との馴れ初めは去年彼が胃の手術を受ける爲にロチエスター病院に入院してゐた當時のことで彼の看護婦として親身の世話をしてくれた彼女との間に次第に親密さを増して實を結んだのであるが、ルーズベルト夫人は先妻と離婚したばかりなのにそんなことはとつくに忘れた顔で「二人はずつと以前から婚約の仲だつたんですよ」と人に話してゐるが、彼氏少し前まで陸軍省に勤務してたゞけあつてこの方面にかけては戰爭にまけない、いゝ心臓を持つてゐる

ソ聯海軍研究書

【モスクワ《盟同盟》】ソ聯は今次歐洲戰爭勃發以來急ピッチで國防の強化を圖ると共に英米國家の戰略戰術の研究を熱心に行つてゐるが最近右研究の綜合的成果と目されるものとして有名な海軍通のエル・ニン・イヤーノフ著「第二次帝國主義戰爭に於ける海戰」といふ本が海軍出版所から發行された。著者のイワーノフはソ聯海軍大學院の通信員、プラウダ・イズヴェスチヤに海軍に關する論文を屢々寄稿しており我國でも周知の海軍通であるが、同書は主として英米兩國の現有海軍力に總批判を與へて目下の海戰に於ける各交戰國の戰術を批判すると共に太平洋の制覇に於ける日米兩國の戰術を豫想してゐる、海軍國日本としても深く關心を持たざるを得ぬ研究書である

今週の映畫

明けゆく土

今日から芳乃館

演出・寺門静吾、配役・楠川光三郎、高山廣子、荒木忍、他

【梗概】上總國市原郡一帶は猶や藩が多く作物を荒すので獲を行つて了つたので農民達はいつ耳をそばだてゝ禁令の解けるのを待つて居た。そのある一家の者達は…

房を射殺した。名主選は網兵衛が貧乏で家族が多いので話合ひの上斷へず隠して了ふ、後日發覺して網兵衛は死刑、名主選は流罪の上土地家屋は沒収、次郎兵衛が逸島になつた後長男次五郎が生れたが女房おたかは事件の爲お乳が上つて了つたので下僕市兵衛は貰ひ乳して歩くがかゝる者ひになるのを怖れ村の者は省みて與ない、市兵衛は貧苦と闘ひ萬五郎を育てる爲自分の娘お梅を女中奉公に出しその給金で次郎兵衛一家の爲に小さな掘立小屋を建て一間きりの部屋に中風の次左衛門とおたかと萬五郎を寝かし市兵衛とおふくは土間に筵を敷いてねる、次郎兵衛の宿兌へ丑の刻詣りまでして此一家に盡すと無事を祈る爲市兵衛は毎晩神社に參詣し、その間、次郎兵衛の身辺にどう代官所へ哀訴するが取上られない一日として休む日もない苦難の幾月は流れ遂に市兵衛の努力が報いられる時が來る

今夜の放送

▲六・〇〇少國民の時間、科學コドモの旅（五）「山陽地方の巻」石本文吉作（大相撲實況終了せる場合放送）▲六・二〇シンフン（大相撲實況終了せる場合放送）▲六・二五時事經濟講座（大相撲實況終了せる場合放送）▲六・三〇講演「躍進精神」小笠原和夫（大相撲實況終了せる場合放送）▲六・五〇ニュース▲七・〇〇少國民の時間、童話（二）玩具箱他▲七・二〇政府の時間「時局の盛留の出面り」事業局事業部長成田▲七・三〇東北民謠の旅（七）「山形縣の巻」▲七・四〇朝鮮民謠天安三三建（他實員子他）▲八・〇〇連續ラヂオ小説「吾妹物語」（第二夜）丸山定夫他▲八・四〇朗讀、一、いざ子供他菊木寛▲九・〇〇時局談話「北支經濟開發の現状とその將來性」賀昌昭宜▲九・三〇長唄、一、新曲「淺葱」他川きよ子他

將棋高段者對抗戰　本社主催

八段　坂口允彥（先手二勝二敗）　八段　萩原淳

萩原氏一同二勝目

（第四十四回の第9局）（圖は前局二七龍迄）

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂			龍	歩		王	香	一
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	三
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	五
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	六
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	七
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	銀	香	九

▲萩原持駒 角桂　△坂口持駒 歩歩（圖は先手）

▲四七桂（29分）　△二二玉（44分）
▲四二と（―）　△七六歩（15分）
▲五三龍（17分）　△四二歩（75分）
▲四一角（7分）　△三金打（3分）
▲三四歩（―）　△三二歩（6分）
▲三五桂（1分）　△四三銀（6分）

指手百卅二手　持時間各十一時間
消費時間　▲八時間三十分
累計　▲九時間二十二分

先手に曙光

八段　齋藤銀次郎

【觀戰記】

昨日後手二七龍は「詰めろ」である事を言つて置いた、で先手は四七桂と叺いだ。龍の利きを遮り次第によつては、三四歩の取り込みから、三五桂の跳躍をも覗てゐる。ここでは此の手が當然かも知れないが、自然に好手順に捌るやうに成るのは、高段棋戰の深遠の面白みの好さを物語るものであ

る。扨て四七桂と打たれてみると坂口氏の手に金銀の持駒があつて何か寄筋があるやうにみえて、その實仲々ないのである。それに自玉の方も相當に危險が迫つてゐるので、駒を渡すと、逆に詰される惧れが十分である。依つて、二二玉と逃げ越したのである格言に、（玉の逃げ越し八手の得）と謂へるから四二ことで自然の負けである

られてゐるが玉の逃げ越しに惡い手は餘りないものである。況んや指手は黑鍵坂口八段においてをや萩原氏は四二とで、武器を補充して敵の手を待つ、坂口八段は七五歩と取り込んだ、さあ大變持駒は金銀で、六八銀成、同玉、七七歩成の順をみてゐる、詰みが有るかどうか！五三龍！オオ何と大膽不敵萩原八段は斷然自玉に詰み無しと確信をもつて、敵王に「詰めろ」を懸ける果して詰みがあるかどうか、私は一應調べてみることにしよう△六八銀成▲同玉△七七歩成▲五九玉△六八銀▲四九玉△五九金▲同角△五七桂▲四八玉△五九銀△同玉――これで詰まない、他に七八銀打の手段もあるが矢張り詰みはない坂口氏も玆で詰みがないかと必死に考へたらしいが、遂に發見できないので四二歩と防禦につく、萩原氏は四一角打つ以下先手々々と攻め立て坂口氏が持駒を消費させて、三五桂と跳ね出す斯くなつては後手の苦戰は掩ふべくもなく、先手は百數十手指して漸く曙光を見出したのである

木村名人講評

先手四七桂は絕對、これ以外は總て必死となるから敗局である、五三龍からは確實な勝である

後手敵の四七桂で万事休した、二二玉、三二金と凌ぎに廻るやうでは敵玉にいよく必死がなくなるから四二とで自然の負けである

商況（十九日）

東京銀行會株

[illegible]

東京國債前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪短期日歩

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪棉花前場

[illegible]

株式社債

[illegible]

爲替

[illegible]

銀塊

[illegible]

棉花

[illegible]

小麥

[illegible]

神戸爲替

[illegible]

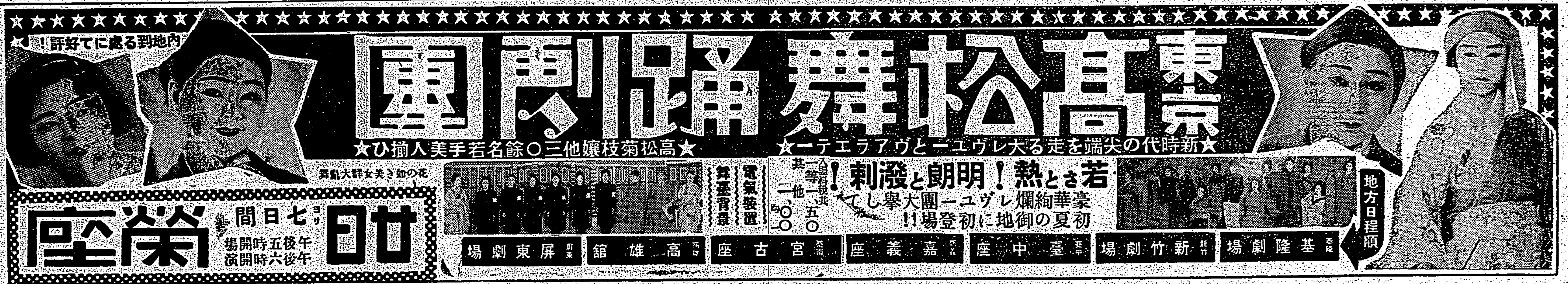
正金建値

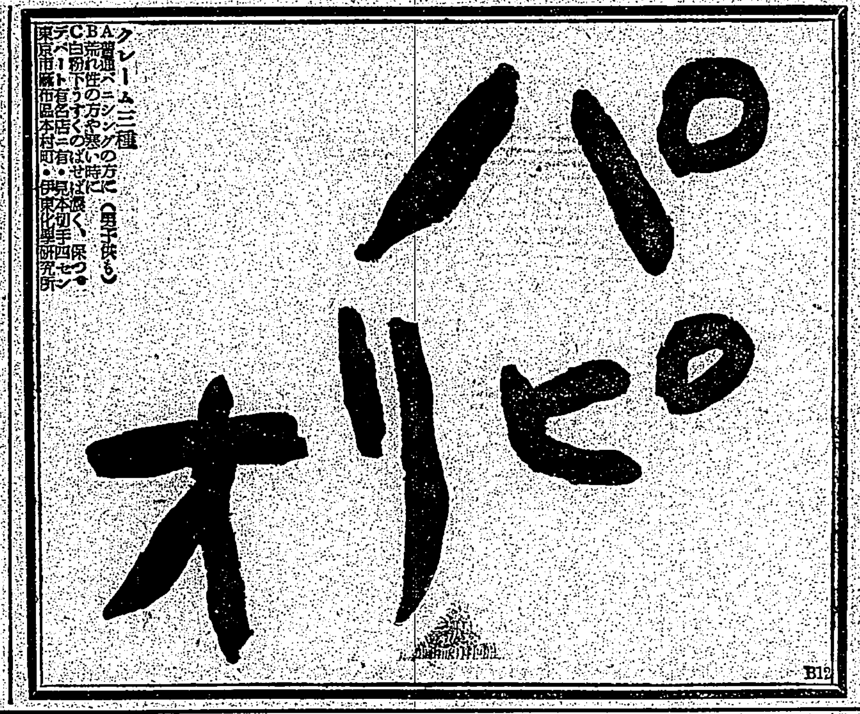
[illegible]

今晩の映畫

■臺灣劇場　書正午上映　1臺日ニュース　2黑い蛇　3爭ひなき民族
■芳乃館　1日本・海外ニュース　2第二の虹　3明け行く土
■新世界館　1宮本武藏　2母の顔　3動王大和櫻
■第二世界館　1日本翼　2三と助十　3母きん
■大世界館　1日本・海外ニュース　2時　3入前夜　4消え行く灯　5狂の山窩明子

特別廣告





臺灣日日新報
本日夕刊共八頁

節電には 新マツダ

棗陽南方に蝟集の敵
小板橋に捕捉殲滅
十八日迄に判明せる戰果

南昌前面の敵制壓
各精鋭部隊敵陣中央突破に成功

陸鷲洛陽を猛爆
重要施設悉く粉碎

陸鷲新昌（敵司令部所在）爆撃

承認を通報
勃外相より滿洲國へ公電

滿洲國政府發表

外相目邸に米大使と懇談

火焔天に冲する洛陽停車場附近

本多駐華大使
各相との會談終了
東上の使命は略々達成

重慶狂奔の輸血路
（上）西南諸ルートの現狀

一、滇緬公路

少年法の運用は虞犯少年に重點
全國少年審判所長等會同

南洋開拓者養成へ開南學院を設立
手始めに南洋事情講習會

東亞共存圏へ努力
長崎で第一回華僑大會

諸大使訓示

中共側又も再提議
重慶側に多大の衝撃

泰代表けふ離京

比島經濟の破綻
對米依存を絶つは不可能

興亞奉公日を再檢討
翼賛會生動本部乘出す

米、外人逮捕令發す
獨、伊兩國人を狙つて

防諜週間の成果
總元締内務省概評を發表

貴院の政調機關
今月中に設置實現

山下中將一行ローマに到着

定例次官會議

中央協力會議員
二市八縣の代表を決定

戰地の兵隊さんに福音

人事

▲小野田正榮氏（臺灣稅務工業組合）十九日來北（鐵道ホテル）

同文館

三井高陽著
世界交通史話
B6判函入三八〇頁　價二・三〇　送・一八

最新刊　十五日一齊配本

著者多年の研究に成る貴重な資料を纒めたもので、交通・驛遞に關する未知の世界がこゝにはじめて興趣深く紹介せられた。筆は例によつて極めて軟かく、肩が凝らずに讀める好著。研究家に限らず廣く大方の御清讀を俟つ。

三井高陽著（七版）
越後屋覺帳
四六判　三五〇頁　價一・八〇　送・〇九

赤星水竹居著　俳文集
虛無僧
四六判　一六四頁　價一・〇〇　送・〇九

安田銀行　内野一太郎著
新訂版　增刷四十版出來！
外國爲替の常識
四六判　二五〇頁　價一・三〇　送・一二

複雜な外國爲替に就て、實際家としての著者の經驗と研究家としての理論とを常識本位に極めて解り易く纒めたもの

經濟學博士　古屋美貞著
新刊　大增刷出來！
興亞貿易論
A5判　三四八頁　價三・三〇　送・一五

日本肇國の精神は世界精神に通ずるものである、との自覺に立つて興亞貿易の根本的性格を明にした大著。

商學士　濱谷源藏著
最近 貿易實務誌
菊判　七二八頁　價六・〇〇　送・三〇

增補新版
貿易實務の基礎知識、貿易實務本論、貿易實務の特殊問題に大別し、理論並に萬般の實務を詳説した權威書。新增補二百頁、實務家必備の大著。

濱谷源藏著　貿易經營概説（四版）
同　貿易會計（十二版）
正金銀行　伊藤和雄著　荷爲替信用狀論（十六版）

理學博士湯淺明　藥學士鈴木治　共著
生物學新叢　第二輯
最新刊　B6判二四〇頁　價一・七〇　送・〇九

湯淺明著
生物學新叢（第一輯）
生物學新研究の一展望（新刊）
生物學總論（新刊）
性の決定（新刊）
生とは何か（增刷）
―生命の機構―

野崎信夫著（六版）
園藝必携
ポケット判二八〇頁　價一・五〇　送・〇九

けふ東京に還啓

御西下の御日程終せらる

石田臺北憲兵隊長上京

社説

重慶抗戰力低下と理論貧困

歷史の必然に反する者は亡ぶ

一

今次支那事變の戰爭性格は、事變勃發以來之を三段階に別けることができる。即ち第一段階は盧溝橋事件勃發より上海派兵に至るまでであり、それまでは我國の戰爭目的は何等明確にされず、從って戰火の擴大を避け現地に於ける局地的停戰協定によって局面を打開せんとしたのである。

二

然るに蔣介石政權が南京東遷へと遁走し地方政權化するとともに長期化の傾向は益々顯著となり、……

三

このことは一口にいへば極めて簡單であるが、われらがこの高次なる道義的戰爭觀、建設戰爭理論に到達するまでのわれらの犧牲、苦惱といふものは恐らく後世史家の想像を絶するものがあったのである。……

濁水溪下流新生地へ

內地移民百家族を入植

雁行の植民五ケ年計畫

南方經濟圏の心臟

臺灣産業の獨立强化

新殖産局長に寄する

民間各業者の要望

內地依存禍脫却に

新資源紹介事業を官營で

計畫は役所で

實踐は民間で

南方貿易の發展策

南洋華僑と本島人の活用

時の人

日佛印經濟協定

南郷南洋貿易會會長

南郷は

性格は

全肥料官會議

本年二期作米肥料

豫定通り配給可能

今期製糖と步留

前期に比し著減の原因

滿洲國

生必品國內企業化

資金は滿系遊資で

臺灣工業化のため

綜合委員會設置進言

圓山發電所

十月竣工

鉄釘會社

けふ發起人會

纖維製品工業組合

けふ創立總會

內外商況（十九日）

株式

兜町後場況

動機待ち見送り

東京短期後場

東京長期後場

東京長期總取組

大阪短期後場

大阪長期後場

《北濱展望》

絲況

大阪棉花後場

財界 株界

物理治療器 オキシヘーラー OXYHEALER

國際外交一貫評論 外交時報 五月中旬號

本多大使の上京に際し……半澤玉城
日蘇中立條約……文作太郎
日ソ條約の意義……中保與作
對樞軸國經濟論……尾形繁之
日米關係の回顧……林 毅陸
日米國交調整の可能性……佐々木盛雄
三國共通の危難……木村鋭市
バルカン戰局の終結……金生喜造
世界動亂は何處へ……關根郡平
宣傳と諜報……橫山正幸
中支國系と新法幣……宮下忠雄
日・佛印經濟協定……政府公表
米國參戰體制成る……歐米時報
歐洲戰亂詳史……本社編輯
國際外交半月日誌……本社調查局

東京丸ノ內 外交時報社

理學博士 牧野富太郎 著
牧野日本植物圖鑑
東京京橋 北隆館

文藝 六月號
讀書遍歷 三木清
周作人と友情 武者小路實篤
聖德太子 保田與重郎
平和への祈り アン・リンドバーク
文化映畫シナリオ募集
第二回文藝推薦小說發表
特輯 初夏短篇小說集
改造社

青少年學徒受驗必携の大明堂三大受驗雜誌六月號
文檢受驗生 六月特輯號
受驗生 六月特輯號
教員受驗生 六月特輯號
每號賣切れ
大明堂 發行

主婦之友 六月號
夏の子供服と婦人服 特輯
實用新型スタイルブック
特別添附 實物大の型紙八種
ミシンいらず手縫で浴衣より簡單に一日くらゐで作れます
實用レース編
節米經濟料理集
高木百合子姬御畫報
女が護る日本一貯金村訪問
主婦の働きで增收の實驗
婦人の昭和禮法早わかり
肺病を全治した闘病法
大評判小說陣
父・松岡洋右 松岡謙一郎
海の台所・特務艦乘組員の座談會
生活品配給所主任と主婦の一問一答
青春會談 石坂洋次郎 丹羽文雄
育兒日記 轟夕起子 夏川靜江
日ソ中立條約
わが家の健康
私・子供の結婚
結婚難と娘教育 特輯
定價六十錢
主婦之友社

皇后陛下　けふ東京に還啓
御西下の御日程終せらる

【京都電話】皇后陛下には伊勢神宮を始め橿原神宮並に各御陵に御參拜更に京都陸軍病院にも行啓五日間に亘る御多端な御日程を御滯りなく終へさせられ二十日は京都御發東京に還啓あらせられるので十九日夜は京都御在住の東伏見邦英伯、御姉君大谷智子裏方と親しく御談話御久方振りの御寛ぎにいと御和かに御物語り遊ばされ御喫飯も御揃ひにて召させられた御由に承はる、かくて京都における最後の御一夜を御過し遊ばされた

陛下には二十日午前八時十五分京都御所御出門赤誠溢れる京都市民の奉送裡に同八時三十分京都驛御發車御還啓の御途に就かせられる御豫定と承はる

光榮のお買上げ品
京都府生産品は十一點

【京都電話】畏くも皇后陛下には十九日午後[illegible]府縣下の重要生産品、特殊産業品を[illegible]御覽遊ばされ[illegible]京都府十一點、三重縣十二點、奈良縣十九點四十七點を御買上げあらせられる旨同日御沙汰あらせられた、特に七・七禁令により一般向けに轉向した絹織物を始め其他作業用品も此光榮に浴して居り[illegible]

【東京電話】十九日午後八時半宮内省發表　皇后陛下には十九日午前十時三十分御出門京都陸軍病院へ行啓午後一時三十五分御歸所に還御あらせられたり

海軍色の濃い行事
來る廿七日海軍記念日

【東京電話】來る二十七日海軍記念日を本年は第三十六回海軍記念日に當り[illegible]は現下の緊迫せる世界情勢に對する帝國海軍の[illegible]國民の覺悟を一層固めるため記念日の前後を通じて各省、府、縣部、地方人事[illegible]部協力の下に全國的に各種の記念行事を行ふこととなり先づ東京では二十日から海軍館に開かれる日本海海戰展覽會を始めデパートを動員して大々海の催しを行はしめ又二十三日から當日まで東京市の陳[illegible]その他各所に海軍の夕べ、海軍を讃ふる會、海を主とする音樂會などが開かれ更に映畫、演劇と五月興行は海軍色のプロを組み多彩な記念の演奏を一齊に繰展げることとなつた

内地各都市の姿に感激を深めた
從軍記念會員ら歸る

臺灣から軍夫、通譯、[illegible]として今次聖戰に參加、大陸の戰野に又は海洋の第一線に活躍し我が無敵皇軍と共にその聖戰の[illegible]内地の記念[illegible]總督府の[illegible]一行三十四名（うち[illegible]）は國民精神總動員[illegible]の下に四月十六日基隆を出帆、内地の聖地に參拜、更に各地を巡り[illegible]國の神威を[illegible]各都市に於ける國民[illegible]の實際を見學して數々の感激と[illegible]を胸一ぱいに十九日基隆入港の高千穗丸にて一同無事歸臺、午後二時三十五分臺北驛に着いたが[illegible]

日光以南の各聖地、各都市を巡りましたが何處も愉快な旅行をした[illegible]たヾ二月中旬から[illegible]行動をとつて來ましたので各地で行儀のよいのを褒められ面目を施しました

忘れられないのは社頭での感銘
孫君の内地視察の感想

[illegible]日本精神[illegible]の本當の姿を[illegible]

佛印と日本を結ぶ文化提携の企て
交換學生やスポーツ團

【ハノイ十八日發特電】日佛印の文化提携は官民の好意によつて促進の機運に向つたので佐藤臨時小川書記官は右打合せの目的で十九日ハノイ發約一週間の豫定で西貢に赴くことになつた

現在のところ日佛印文化交換は日本ニユースがハノイの常設館に毎週上映されてゐるほか鐵道省觀光局が去る一月、四月の二回に亘り寫眞展、人形展をハノイで開催、五月十三日にはドクー總督以下佛印名士百名をハノイ一流映畫館エデンに招待し日本文化映畫その他の試寫會を行つた

さらに美術方面では交換教授として東大教授大田博士がハノイ大學で講義中であるが一方佛印側からフランス極東學院教授ゴルーベフ博士が去る十五日海防出帆、訪日の途に上つた、佛印側警察局、觀光局も文化交換には非常に乘氣であるから期待されてゐる、[illegible]常事者間に計畫されてゐるものとしては左の如きものがある

一、交換教授のほか交換學生の派遣
一、夏季休暇を利用して日本學生スポーツ團の佛印訪問、一方佛印よりも十月中にサツカーチームを日本に派遣する
一、音樂藝術の交換、カンボヂヤの舞踊の紹介
一、諸展覽會の開催

石田臺北憲兵隊長上京

石田臺北憲兵隊長は五月廿六日上京[illegible]

臺灣は南方の心臟
佛印とは深い關係
野尻商務官の寄臺談

【基隆電話】佛印の新任西貢駐在野尻正氏は赴任の途次十九日基隆入港の高千穗丸にて來臺した[illegible]

府展の開催日決る
十月廿五日より十日間

[illegible]

高千穗丸入港

【基隆電話】高千穗丸は十九日午前一時半基隆着に入港したが主なる船客は中村臺北五藩[illegible]

南洋華僑展

南方發展に活躍する七百萬南洋華僑に對する認識強化のため南方[illegible]

體力章檢定講習會

[illegible]

機甲軍備を語る
本社主催座談會（８）

軍馬無用論を排す
機甲軍備の國民的基礎

清水中佐　今お話があつたやうに、機械化兵團が出來たら馬がいらぬといふのは大なる間違ひであります。今の國民といふものについては[illegible]

永井支社長　増田中佐の[illegible]

増田中佐　[illegible]

安達大佐　ドイツ軍が「ギリシヤ」戰の山岳地帯で大なる機動力を發揮したことについては吾々も戰場へでなくちやいかんと思ふ、ドイツでは西部戰線で[illegible]

増田中佐　私が考へてをりますが[illegible]

清水中佐　[illegible]

安藤氏　[illegible]

橋本大佐　[illegible]

山田少將　いまの話が[illegible]

機甲軍備を語る座談會出席者

陸軍機甲本部長　吉田惠中將
同　本部付　山田太郎少將
同　第一課長　安達久大佐
陸軍名古屋部長　吉松[illegible]中佐
同　教官　馬淵[illegible]中佐
陸軍戰車學校　山口[illegible]中佐
陸軍騎兵學校　鶴見惟[illegible]大佐
陸軍自動車學校　佐久間[illegible]大佐
同　戒田[illegible]中佐
兵器行政本部　三島[illegible]大佐
前臺灣軍參謀　増田[illegible]中佐
東京朝日　清水[illegible]中佐
本社側　安藤[illegible]
永井省三

【寫眞はリビヤ戰線のイタリア軍機械化部隊】

大相撲夏場所星取表

[illegible]

大相撲夏場所

羽黒黒星頂戴

【東京電話】[illegible]

大潮は引退か
四海波休場

[illegible]

十一日目勝負

【東京電話】大相撲十一日目[illegible]

十二日好取組

[illegible]

新竹春競馬
二十三日皮切り

【新竹電話】新竹春季競馬は二十三、二十四、二十五、三十一日及び六月一日の六日間に亘つて開催される[illegible]

官舍荒しを逮捕

[illegible]

皇民奉公運動講演

[illegible]

淵ノ上課長のお目出度

[illegible]

臺北の遊廓肅正

[illegible]

街頭を練る明朗音樂
吹奏樂の報國隊

[illegible]

諸種講習所も徳育の練磨に力を注ぐ

[illegible]

ラジオ

[illegible]

けふの天氣

△臺北地方　南西の和風後曇時々雨
最高　三〇・七度
最低　一九・六度

第二回決算報告
臺山製茶株式會社

株式名義書換停止公告
臺灣拓殖株式會社

事務見習員募集
臺灣日日新報社

鐵管に優る　セニス・パイプ　台湾ゼニスパイプ株式会社
水道管・排水管・工場用送水管・集水管・一般下水管

日本郵船　出帆
大阪商船　出帆
南日本汽船
東亞海運　出帆
辰馬汽船　出帆
大連汽船　出帆

看板熟練工　寫眞現像　第一生命　第一生命　所長　外務員　事務員募集　小店員入用　求人　雜役係　仲居見習　のせ京染　結婚調　ミシン格安　貸間あり　求住宅　電話商品券

夫重太郎儀昨十九日午前十時急逝致シ候間此段生前辱知諸彦ニ謹告候也
御會葬御禮　石畑伊三吉

明るい名刺　精美堂

飲めよ島産　高砂生ビール
疲れの一杯　體力強化

齒科　青木齒科醫院

保生醫院

株式會社　南榮證券

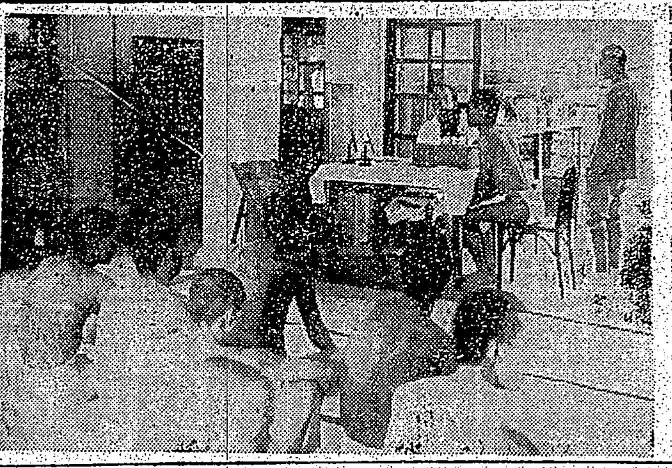
雇員募集
臺北州産業部經濟統制課

日華對譯　福州語
福州東瀛學校長　北原癸巳男
福州日本學校長　陳戊壬
福州日本小學校教員　松田福信　共編
定價壹圓貳拾錢
發行所　臺北市本町三丁目十一番地　株式會社　竹腰商店

全島各地綜合版

陸軍官舍街に神社建立
司令部職員作業に奉仕
澎湖神社の御分神奉祀

東京高雄の取引を促進し商品の交流が必要
東京商工會議所 大野課長"高雄"を語る



高雄市の徵兵檢査 高雄市に於ける本年度徵兵檢査は十八日より三塊厝公學校に於て上坂勝大佐檢査官となつて執行された

僅か五歳の幼兒が防諜演習に殊勳甲
全部落民總出で"防諜"徹底に協力

スパイ捜査演習

壯烈な市街戰展開
彰化鄉軍の野外演習終る

赤堀前高雄州知事近く富士丸で離臺

全行商人に登錄制
臺南市 暴利行爲封鎖に名案

モツコを擔いで 知事さんも作業

烏溪水害豫防組合創立總會
嘉義郡下庄長會議
高雄州產業部に工業係新設

武內君の死體發見
捜査隊の苦心報いらる

高雄市軟式野球

防諜演習發見者 署名に賞品授與

長岡

檢視

シム歯防止に 化學的清掃力で中性淨化する
特許 ブラク歯磨

老春 (87)
川口松太郎 作
伊勢良夫 畫

過ぎ行く日 (七)

日產生命
社長 伊吹震
相談役 鮎川義介

大陸 六月號 七拾錢
外交と事變處理 ソ聯極東政策の基本 原理
事變新局面への展望 今中次麿・新明正道
東洋的の自決…酒井鎬次
支那革命秘史…頭山滿
バルカン興亡史 芦田均
▼東洋的方法への反省 山下信庸
▼佛領印度支那の開發 金子太郎
▼臺灣農業の現段階 野田任
▼支那農業社會の特質
▼コルホーズ經濟と農民
▼支那の少數民族
外蒙古の近狀
牧畜・喇嘛・蒙古人
最近の外蒙古
▼基礎支那語講座
上海南京寸感・長野朗
福州の林委員長・森山喬
臺灣の文學・中村哲
初夏讀物集 鶴 火 鐵 陸 村上知行 パール・バツク
南方の憂鬱 R・クールド
北京の文人…中村亮平
苦力とその子…國分一太郎
辺區の民衆 陳學昭
改造社發行 東京市芝區新橋七丁目

日本軍用犬 日本軍犬協會 大興社
勝馬 算出 祕錄奧傳 大興社

百廿版 昭和風雲錄 滿田巖著 ¥二・三〇 〒十六 四六判 五六〇頁
これはすばらしい國民文學である。最近二十年の日本の風雲をついて今日に至つた日本のすがたを如實に示され、全卷を通じて深い國民的感激に、おのづから日本的自覺をあたへられる。ここに本書が各方面に推賞される眞面目があり、出陽のそれに例へて「昭和の日本外史」とまで激賞される所以があるのだ。
新紀元社 東京市神田區小川町
好評再版 戰ふ日本經濟 西谷彌兵衞著

別冊附錄 池上金治著 體力章檢定讀本
野球界 六月特輯
相撲の効用を論じ將來に望む 馬淵逸雄
廣東記 笠置山勝一
現代力士論 太刀山峯右衞門
夏場所大相撲展望 夏場所縱橫談
相撲鍊成の苦心
春の六大學野球戰中間展望
春の六大學野球戰記
早慶野球戰論 (三原修)
廣東の早慶戰
健全娛樂としての職業野球を語る座談會
球界人物評論
投手生活十五年
續近代野球戰術
春の大リーグ優勝展望
技と信念 工藤一三
相野球聯盟試合半額券つき
別冊とも 壹圓 博文館

婦人公論 六月號 六〇錢 日本發賣!
青年男女の愛情 天野貞祐
國民生活としての消費生活・東畑精一
秘められたる無一物の境地・山田靈林
米國知識婦人の生活・坂部淸子
「明るい生活」を學ぶ・中川のぶ
結婚資金貸付と產兒獎勵金・高野六郎
小學生のころ 小倉金之助
フランス追憶・永田清
わらびと鯵・中村吉右衞門
能の鑑賞・野上豐一郎
歌(民謠歌謠)の話・野村光一
生活と禮儀 德川義親
海三章(詩)・三好達治
愛心について・土井八枝
女性風俗時評・佐藤喜一郎
女教師 芹沢光治良
松岡外交の將來・清沢洌
物價問題の話・原祐三
手紙合戰・サトウハチロー・ヨコヤマリウイチ
子のない妻へ・宮城タマヨ
日本婦人の歌・齋藤茂吉
女性と服飾・柳田國男・山室善子
思ひ出の人々・三浦環
個性を生かす服飾・田中千代・佐藤菊代
季節向の辨當料理・黑田きみ子
松岡外相の話 杉山平助
大好評の創作欄!
鶏園・横光利一
草を踏みて・石坂洋次郎
白い壁画・富澤有爲男
鄉愁・藤澤桓夫
傑作短篇 外套 ゾベン
傑作短篇 烏秋 眞杉靜枝
女性の美しさ 中村研一・矢田津世子・保田與重郎・中山義秀・森田たま・藤川榮子